

# バストス週報

第(四七)号  
昭和四十一年  
七月廿九日  
発行

DIRETOR  
KOITI MORI  
REDATOR  
SHION ODA  
RUA PRES.  
VARGAS 188  
C. POST. 112  
FONE. 40  
BASTOS  
C. P  
CR. \$  
4,000-  
ANUAL :-

青 嵐 28

## 畑中さんの胸像

自分の身逝かな人で胸像になった人を  
これまで見たことがなかった。なので、こ  
れ畑中さんの像を初めて見て、その出来  
のすばらしさに驚嘆した。  
去る七月十六日畑中翁胸像除幕がバス  
トス文協の所蔵で祭典行事の一つとし  
て執行されたが、蓋し本行の在りて  
あった。午後二時半シネマカン前の小公  
園の中央に立つ白石の上面に安置され  
像を蔽っていた白布が取り除かれると、五  
余の会衆は一せいに拍手を贈った。青天  
背景に畑中像は陽光を顔から鼻筋に浴び  
て在りし日の畑中翁のイメージをそのま  
ま再現し、今にも物を云い相な唇である。  
一瞬涙が出そうになった。  
式場では小林平行弁護士が理事な司会  
振りて来賓の式辞を次々と披露させてい  
た。前語では市長、市会会長、京野州球  
日語では田村大使、近藤総領事、宮坂聖  
市文協会長、その他の人たちが畑中翁の  
行績を讃美して余すところなかった。  
谷口氏は建設委員会会長として逕過報告  
をし、前山会長は大家の協力によつてバ  
ストスの父とも云ふ可き畑中翁の完成を  
見たことの喜びを述べ、バストスの躍進  
と繁栄の指針として二世三世を鞭撻する  
であろうと結んだ。

像は正面からのみならず、左右側面か  
ら見ても、背後から眺めても畑中翁そつ  
くりである。似ているとはおろか、本人  
が座しているといつても過言ではない。  
製作者伊藤正義氏の言を借りると、像は  
無論本人と似ていなければならぬが、似  
ているだけではいけない。そこに作品と  
しての藝術性が具備されることか条件で  
ある。寫真でさえそのことが要求される  
のだから彫刻作品ともなれば藝術性の高  
い程、みる者の心に脈々と傳わる神祕の  
感度が増すのであろう。  
あの作品には、仰き眺めて飽きることの  
ない味があり趣きがある。  
あの像を一層光らせるために、もう一つ  
見落せないものがある。それはあの胸像  
を更えて居る白石の構造であろう。何の  
要荷もない赤御影石(花崗岩)だが正面  
を五つと磨いただけで、宮坂国民の筆

わかもと  
わかもと...で  
癌を防ぎ、胃腸を守り  
わか化粧品で  
いやが上にも美しく



UAKA

クリム七種  
杏木 九種  
アプアコロニア  
わか石けん  
ホマーニ三種

わかもと製薬株式会社  
わか美容化学研究所  
薬局でお求め下さい

はき良き  
皮革の良き  
となたもお気に召す


電話 3656

Sapataria Bastos

早川靴店

ハヤカワの靴

FONE. 55



畑中仙次郎翁之像の彫りがあり、左  
右背後は荒けすりで四面の装飾もない素  
朴な作りである。ピカピカ磨き立てた大  
理石などなく、しつとりした落ちつき  
を見せ、台上の胸像に自然点卓を合せ  
巧まざる技巧が施してある。  
この一枚若は重量四千キロ、産地はミ  
ナス州境エストレーラの町付近の山が  
八百キロのブタマンチ十市寸で運



はれ大西工房で、ミを入れ高さニ米、前橋上部72センチ下部84センチ、横幅は十センチ程せまい、これをカミニオンにつまの一日半を要し、バラストへもつて未だ下ろすのに半日公園の中央部に立てる道にまる一日(十人まで)かかっているといふことである。

これは余談であるが古代エジプトのピラミッド建設がいかにすごいものであるか想像できる

糸音

次に京野氏の式辞の中に兵庫県知事金井元彦氏のメッセージがあつたが京野州議はかたてこの事あるを予知し、当日に間に合うように依頼打合せをした由で、よく気のつくこと非凡で誠に感銘深いものがある。

### 金井兵庫県知事のメッセージ

本日バラスト植民地入植38周年記念日にあたり、兵庫県出身の故畑中仙次郎氏胸像の除幕式が執行されることとなり、兵庫県(郷土)の県民43万3千人を代表してここにメッセージを贈りますことは、私の誠に光栄に存する次第であります。

かえりみますれば故畑中仙次郎氏は一八八八年六月六日兵庫県多郡再南断にて出生され、名門校鳳鳴中学在学中より海外雄飛の念に燃え、東京外国語学校ス페인語科を卒業するや、勇躍ブラジル移住先駆者として渡航せられ、当時ブラジル拓植会社の手によりバラストに植民地が建設されるにあたりその支配人として就任せられ、爾来約38年間始終バラストの地を蒿れず、植民地建設の中心となつて幾多の苦難と危機に遭遇されながら敢然として開拓の最前線に留まり、ついで今日のバラスト市の隆盛の基を作られたのであります。その間同氏を扶けたゆえに御努力を続けられました植民地の皆様方に対し深甚の敬意を表する次第であります。

故畑中氏の永年の御功績に對しまして既にバラスト市会からは名誉市民の称号が贈られ、又日本政府からは先幸海外移住功労者として勲五等瑞宝章が贈られております。

つたえ聞くところにより、現在バラストに在任の方々は勿論、かつて在任された人々はこのまつて氏の篤実な人柄に敬服され、移住地の慈父として尊敬して居られ、そのことでもあります。

本日の記念日を期して故畑中仙次郎氏生前の温容ほふつたる胸像の建設がバラスト植民地にゆかりある人々の手によつて進められ、ここにめでたく除幕のはこびと相成りましたことは意義深く、

ねがわくはこの像が氏の御功績をたたえ又氏を知る人々の敬慕の象徴として、こゝにえによき思出のよすがとなり、また切願いたすことにも、故畑中氏を中心として将来益々発展されるよう、兵庫県民一同とともに祈念いたしまして、私のメッセージといたします。

一九六六年七月十六日

兵庫県知事 金井元彦

### 催し物一巡

糸音

七月十六日処見  
○農産品手芸展 毎年このころ作ら手際よく夏果展示されて、卵と菌の産地だから、これに力が果結されるのは当然ではあるが、いさゝか数が少いように思われる。見物人には素人が多いから、何れかいいものや普通品やら判らず、多くても少くても関心はなからうが、バラストを交えるものは何と云つても養鶏養蚕畜産果樹果菜だから、出品の多寡は生産意欲の消長にもかかわりがあると思ふ。さういふ意味で農産品展は、いつも押すな押すな盛況でありたいものである。

### ○字真展と陶芸展

小沢勇氏の訪日中あちこち名勝地を撮影されたものを参考品として出品してあり可なり数量であつた。珍らしい写真が多く出来もよかつた。

一般芸術寫真は出品数例年より少いようであつた。それは致し方ないとして一つ小言(苦言)を云わせてもらふ。それはガフスチと台紙がきたないことである。テレックスをべたべた貼つたまま何年間か使ひ放したまはらう。いやしくも芸術寫真の名に於て人に見せる以上あれは醜態ではなからうか。忙しい連中のことだから、閉鎖後直ちに寫真だけは、かとりガフスチは倉庫に入れてしまふ。かくて来年の今月今日、とり出してリンパするのみもなく、そのまま使用するのであらう。あんな小汚ない展示会を聞いた事はない。誰しもう人は居ないだらう。あれは、誰しもう人は居ないだらう。あれは、誰しもう人は居ないだらう。

### ○茶碗急須花瓶水盤などさまさまで

初年生の作品として稚拙美に乏しく、中々巧みである。橋本光義さんが同好の士に、よびかけて創めた素人芸で、中々雅趣があり、花器などは将来、店では買えぬ逸品が生れるであらう。趣味として、笑を兼ね、飾装にも応用利用されるようになるだらう。出品者の氏名が作品に付



3  
 けてないのて尋ねてみたら太郎田監督曰く「まだ名を出さずはどの作品でもない」といいういわけだ。しかし、展覧する以上作者名を出すのが通例で、無名子作などというを聞かない。これから堂々と名前を發表し、としとし売価も明示されたい。但し非売品は奥床しい。でし小生には特に安く売ってもらいたい。……」  
 ここまで書いた所を、阿部立部アチウンチより一文が届いたのでスペースを彼にゆずる。

入植祭 あれこれ

にくまれもの生

バストス人が他所で遠い別れる時に、今年の入植祭には是非バストスに遊びにいらつしやいれというのが一つの接点になつてしまつた。地元の吾々には、入植祭が近づくると寄附やらいろいろな物入りが多くなるとか、心を待ちにしているのは、この日の来るのを思つていふ。私だけではないと思つていふ。子供達は子供達でバストスからムダンサして行つた友達と早くから手紙のやりとりをして、入植祭に遊ぶ打ち合せをして、そのムダンサした子が又彼の地で知り合つた友人達をゴンビダして来るので、入植祭に集る人々の数は年々多くなつて、女房運は忙しい忙しいと云ながら、やはり自分達バストスのお祭りの印象を少しでもよく与えようと常の無慮づらもこの日はかりはえびす顔で嬉々として世話をやいていふ。  
 先号で宮武氏が云われた如く、たしかにバストスの入植祭は全市全村がこぞつて、このお祭りをよりよく、より楽しいものにしてしようと努力している。気風が十二分にうかがわれる。この由えんは私には、適当に表現出来ないが、このお祭りは、最早バストスから切り離す事は出来ないであらう。

にくまれ口

3  
 そこでこの祭典を今右ますます充実したものにしてみたいと願う。持からこの度の入植祭典を参観者の立場から見ると、少しばかり憎れ口をたたいて見ることにしてしよう。

○農産品展示場

さずがに若人達の組織と長年の経験は、あつて整然として取り立て、ケケをつける所もなかつた。特に今年は手芸品を西側に並べておもむきを変えたり、入口、出口などに指示板がかけられてあり、混雑を防ぐ工夫をしたことなど、仲々こまかに気がつかつていた。下段へ

花の御礼

戸田 ツイ子

入植祭の演芸会舞踊に出演致しまして、た処左記の方々から過分なる御花を頂戴致しました。失礼ながら紙上を以て厚く御礼申上げます。

- |        |         |
|--------|---------|
| 水本 彰様  | 吉本幸子様   |
| 丸山 敦様  | フオト島本様  |
| 水本幸子様  | 小谷 様    |
| 織田じっ様  | 原野 小冬様  |
| 肥後アサ子様 | 佐藤 和枝様  |
| 武田オヤジ様 | 青木 キヨカ様 |
| 遠藤常治様  | 清家 ルイ子様 |
| 岡本憲子様  | 栖原 信子様  |
| 山根三郎様  | 松藤 ミキヨ様 |
| 小林小久様  | 古沢 市次様  |
| 友谷和子様  | 柳 浦パール様 |
| 宮武夏子様  | 新谷 つか江様 |
| 武田栄吉様  | 守越 高杏様  |
| 生方 正義様 | 嶋崎 ミキエ様 |
| 光石ニヨコ様 | 森下 正枝様  |
| 板垣薬局様  | 黒川 仁恵様  |
| 橋本 テイ様 | 渡辺 千十工様 |
| 岡田 様   | 山本 栄子様  |
| 藤田しげ子様 | 筒井 節様   |
| 橋本千エ子様 |         |

花の御礼

杉 ふでの

- 入植祭の演芸会に出演いたしました。処左の方々から御花を頂きました。厚く御礼申上げます。
- |        |        |
|--------|--------|
| 能見 真市様 | 吉田キミエ様 |
| 板垣悦子様  | 渡辺権之助様 |
| 杉 秀子様  | 伊藤 妙子様 |
| 吉田とし子様 | 紫藤キク工様 |
| 杉 信子様  |        |

ただ何となくしんかんとした感で、此処に沢山の参観者を呼びこもうと云う作戦が欠けていたように思われた。面倒くさいからどうでもよいことだが



いつの年だったか忘れたが、内々で参観者にかつ工の無料サービスをした事があったが、地元の人はいかか他所から来た人達にはこの一はいのかわ工がどんなにかバストス人の人情を物語るものとして嬉しがられたことであらうか。

◎生花展示会

この方は同好の士をなごませるのに全くの趣これと云って手落ちはないように見えた。只筆者が準備中に同所へ上って見た処お師匠さんがたつた一人でお掃除や机のかけたづけをされてゐるのには、いささかお気毒な気がした。みんないそがしい人手が足りないのはよく判るが、こう云う蔭の苦勞もみんな分けて合せて上げた

◎児童絵画展覧会

お祭りにもう一つ花を添えたのがこの絵画展覧会、専門の先生に習ったとは云え、わずかの期間の手刻で、小さいな子供達があのよきな立派な絵かかけるようになるとはおどろきであつた。案外こう云う処に知られざる才能をもつた子供達がたくさん居るのかも知れない。ますます精進を乞う次第。日本の学童は自由画によつてのびのびと童心を満足させているが、バストスに於ても、此の点に目覚めたことはよろこばしい。

◎寫真展

この方は、今年作品が少いから、と云つてと云われていたが、寫真会もやはりおしりに火がつけばその貫禄を失わない時に今年はお沢さんのお父さんが日本みやげの寫真を二十点ばかり、芸術寫真とは云えない知らないが、日本各地の文化財や古蹟を紹介する意味で誠に結構。

◎蘭シマボテン展

三十年前なら蘭、サボテンの趣味などおよそ縁遠いものであつたが、誰しも生活がゆたかになると、こういふものに趣味をもつのは東西の人情、私しのように貧乏人には手も出ないが見せてもらうだけでも充分たのしみ。ただこの方はかつちりと商売をしていてたが、これも団体の費用捻出とあらば寄附を仰ぐよりはよつほど立派な行為とパス。次回はもっと大規模のものが出来るように、たのしみにしている。

◎辻強盗

商売と云えば是非止めてもらいたいものが一つあつた。バスからバスまでの入口に道路警官を従え、通る車を一台余まらず止め寄附を受け行爲、どこの団体か、或は学生か知らないが実にいやな思をする。金額は僅か知れたものだが、切角のバストスのお祭をたのしみに

花の御礼

島本文子

はじめに演芸会に出演いたしましたし、左記の多数の方々から御花を頂きました。誠に有難うございました。

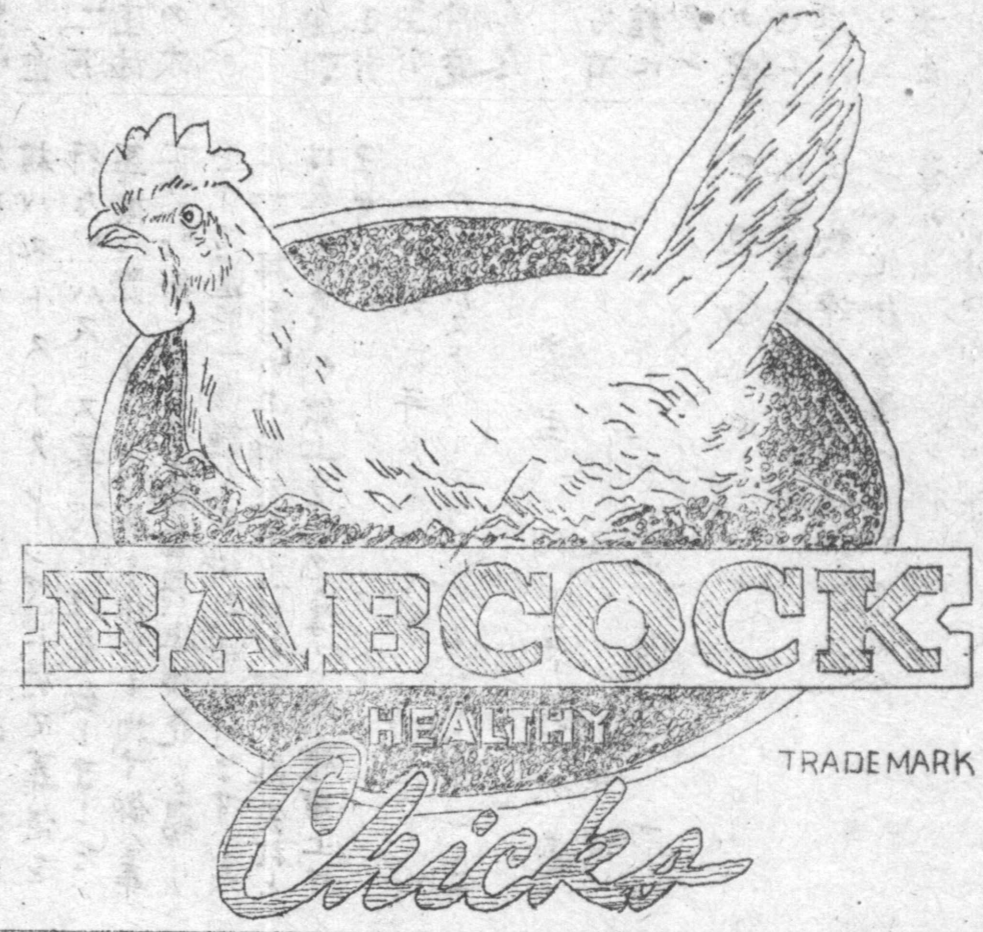
- |           |            |
|-----------|------------|
| 前山 づる 様   | 能見 ヒデノ 様   |
| 谷口 幸子 様   | 清水 富子 様    |
| 栢野 益子 様   | 中浦 富子 様    |
| 橋本 てい 様   | 原野 こふ中 様   |
| 織田 しづ 様   | 西ヶ迫 ふさえ 様  |
| 溪田 砂子 様   | 福森 照雄 様    |
| 古田 こふさ 様  | 守越 まつえ 様   |
| 宮崎 宇真館 様  | 水野 みま子 様   |
| 戸田 ツイ子 様  | 島本 恵子 様    |
| 橋本 ちえ子 様  | 石橋 敏子 様    |
| 古川 様      | 宮武 夏子 様    |
| 松藤 みさ子 様  | 新出 ゆきえ 様   |
| 栢山 米子 様   | 渡辺 ヒサ 様    |
| 堂前 幸太郎 様  | 伊藤 妙子 様    |
| キタンダ 古川 様 | 西見 ハマノ 様   |
| 寺岡 トモ 様   | 上野 原 様     |
| 友谷 和子 様   | 岡野 悦子 様    |
| ポンタグロサ    | 板垣 新一 様    |
| 島本 公 様    | 若野 耕一 様    |
| 杉本 ふでの 様  | 谷田 部 ちよ 様  |
| 宇都宮 千未 様  | 星島 絢枝 様    |
| 古沢 市次 様   | 堂前 武雄 様    |
| 栢原 様      | 渡辺 千工 様    |
| パール 水口 様  | 照井 秀夫 様    |
| 上西 きみ子 様  | 永相 美代子 様   |
| 小林 小久 様   | オズワルド クルトス |
| 早川 靴倉 様   | 佐藤 沖子 様    |
| 谷口 嘉平治 様  | 堀田 商店      |
| 岡田 節子 様   |            |

◎演芸会

其の他の展示会は残念ながら見落してしまつたが、最後に演芸会の夕下しを一つ。いらぬ間いらぬな催物を見てクタクタになり、来客も家族のものも一緒に、早目のシマタをせまい食卓でワアくまやく云いながらするのにも、出かけるのが演芸会、遠来の客のため前日から子供達に大きな敷物を持たせ場所を取らせにやる。場内整理のおいさんと、どらどやされてもガンバッテゐるのは、考えて見れば子供心に遠来の客達によるこんでもらう気持に外ならない。



B-300 **BARBACOCK**  
 世界的経済鶏



訪日見聞録

九州観光

博多近郊名所巡り

小沢勇

車は福岡駅博多ステーション前に  
 いる。現代福岡市を代表して毅然と聳  
 立っている。其前を通り過ぎて呉服町に到れば  
 地上六階八階の大ビルディングが林立して  
 いる。その壯觀と云うべきである。林立して  
 大丸ビル、の所を右折して東公園に入る。  
 庭式公園に入る。福岡市に帰る。博多市を  
 足下に睥睨して屹立する。亀山上皇と日蓮  
 上人との大銅像の前にたまたまゆめげ、其の  
 昔元軍十萬艘相含んで此の湾に来襲し  
 鎧兜に身を固め、日本刀を振りかざした鏖  
 倉武士がこれを迎撃し、伊勢の神風に壊滅  
 した大激戦が眼底を去来する。宮崎神社に  
 咲き誇る山桜花に送られて、宮崎神社に  
 参拝する。日本三大八幡宮の一つとして有  
 名である。古来国防の神として尊崇せら  
 れている。同社の鳥居は異形の感を与えた。カッ

シリと建てられた柱が鳥居全体の調和を  
 度外視した様に太いからか、この石の大  
 鳥居は藩主黒田長政公慶長十五年の建立  
 の銘があり、柱は三段に切れ下肥りにな  
 って立ち、笠木鳥木は一石で造られ、先端  
 が鳩の胸のようになり、反り上り貫と笠木の  
 長さと同じで、額東が著しく迫り世の帯  
 の鳥居と異なっているが、なんとなく神さ  
 びた感じのする異色の鳥居として、筑  
 崎鳥居の称があり、国の重要文化財となっ  
 ている。記帳によると、宮崎宮は、延喜二十一  
 年醍醐天皇の御代、太宰少貳藤原真柄朝臣  
 が御神託により勅を奉じて造営したとい  
 う。当時の社殿は千代の松原の白砂青松  
 の中に丹靑の色も鮮やかに壮麗目も覚め  
 る。げかりのものがあつたと想像される。  
 然し其後元寇の戦火、戦国の兵乱等に  
 遭つて、其後元寇の戦火、戦国の兵乱等に  
 大棟門は文録三年、早川隆景が建立し  
 た。その中央の「敵国降伏」の大額は元  
 寇の乱の昔をしのばすに充分である。名  
 昔は此の社殿を中心とした一帯の地は  
 十代、松原といつて、昔から松の多い名  
 所として、其の広いこと、昔から松の多  
 十里松と言われた所だが、今は街が広く  
 建ち並び、松も大分枯れ失せ、昔の様は  
 ない。事ながら、其カ美しい大景はここ  
 ならでは感深し。



松影にすくみくらして短夜り  
明らをおしむ若崎の浦 大村由巳

の碑銘があり、神木、宮松は八角形  
の赤い立派な玉垣に囲まれ枯れた古木の

跡に若松が植えられたに  
社に若松が植えられたに

新羅より御凱旋の後、筑紫の国守美の里  
で御降誕になり、御胞衣を箱に納め博田

の畔白砂青松の浄地埋め印に松を植え  
た」と記されている。

其の当時このあたりは一面の松原が長  
く、葦津ヶ浦と称えていたがこの箱を埋

めてから地名を箱崎と呼ぶようになった  
と云う。

今は海が埋まって海岸線から大分遠く  
なっているが博田の前にあって標の松

又は、宮松と云われていて、松の根の  
所にある石碑には、千早振る神代に植え

し、博田の松と刻りこんである。  
博田の松と刻りこんである。

送局海岸に近い大ビルディングを眺めつ  
つ、福岡城蹟に六十二万石大名の昔を

前に車は止まる、大濠公園は海岸近く湖  
水かと思われ、大池を中央に取り入れた

いかに博田の島が美しく影を落して  
翠松繁り、二の島の橋が架せられ行く

又島道は長い現代式の橋が架せられ行く  
人三三五五として其の風光を賞んでいる

島の山桜は松の翠と池の碧との間に得  
も云われぬ風情をかもし、橋のたもと

大池は新緑の姿を春風に靡かせ其の下に  
總う博多美人は誰を待つのか

物は、大池に沿って建てられた数多くの建築  
物、婦人館、旅と観光館、アメリカ館、近

代科学館、ソ連館、第二生活科学館、月  
旅行館、魔法の家、世界物産館等を主体

として大小多数の建築物の前には各国の大  
国旗が無数に立ち並び、大会気分いやが

上にも盛り上げられている。  
ソ連館の月世界旅行用のロケット発射

管の模型が空中高く聳え立って、目を引  
く、あすの郷土館には九州全土大模型が

造られてあり、交通に産業に原子力発電  
所、海底牧場、海上公園等よくもこんな

ことが考えられたと思われ、  
未来の九州全土の様相が一目瞭然たる有

様に、驚異の眼を見張りつつ生活科学館に  
行けば、電気頭脳による計算機で、ボタン

を集めた所に此の博覧会の特徴が現われ  
ている。  
博多湾に突出した多度津山が西公園と  
なつて居り、東南両方面に全市を眺望し  
博多湾を一望に収め多数の松の大木の中  
に山桜点々と色をそえ吉野桜は蕾を運  
ね実に美しく雄大な公園であり、湾内眼近  
くに能古島其の東に志賀島の二島あり、遠  
かに見える海の中道と共に博多湾の自然  
の大防波堤をなし、能古島の左方には今津  
が望見せられ元寇の時の防壁が残されて  
いる。  
車を反転して市の中央部に来れば、県庁  
市役所、商工会議所等々々の大ビルが連  
続し、其の東方、東中州の観音街現代設  
備と共に、戦後灰燼の中から立ち上り、  
再建整備された大都市の現状は、九州大  
一の政治経済の中心地としてふさわしい  
物である。(次号へつづく)

御 礼  
金十コントス也 御貴殿今因麻州方  
百へ御移転に際し一組へ御寄贈に預り  
ました、存難く御礼申上げます  
及川 充 様 中央区 第一組

死亡通知並に会葬御礼  
長男平野千春(才)儀突然の発病にてツ  
バン市サンタカパーダに入院致しまし  
たが何分にも急性脳膜炎にて薬石の  
効なく七月十二日午後八時四十分昇  
天致しました。翌日午後五時自宅出  
棺バストスイグレイジマに於て葬儀を  
行ない、バストス墓地に埋葬致しました。  
葬儀に際しましては御多中にも拘らず御会葬  
下さり、御丁寧なる御香典、御供花を賜り  
まして遺族一同謹んで御礼申上げます。実  
は一拝眉の上御礼申上げる可き処失礼と  
は存じますが紙上を以て厚く御禮申上げ  
ます  
一九六六年七月十八日  
バストス、ルア、カンボス、サーレス、一七三

哀主 父 平野光善  
母 千代  
遺族 一同  
四組 御一同様  
仙教連合婦人会様  
仙教婦人会様  
其の他御会葬下さいました  
皆々 様  
バストス中央区 様

其の他、挙ぐるに違なきも現代科学の科





1 e 2

# トリミックス

## 養鶏の秘訣はトリミックス給興第一

それはあらゆる栄養剤を適量に配合され  
てあるからです  
トリミックスを処方通り飼料にまぜること  
により産卵率の増加を計りましょう

### 愛鶏の悪い病気と治療にはサナミックス

コリーガカゼ、コレラチブスなどの予防と治療に  
特効をあらわします

サナ家畜製菓会社 聖市ブラウリオ ゴメス街  
二五番 十階

日本人部 代表 藤本博

アルタパウリスタ  
ソロカバナ

バスター地方  
代理人

丸山 敦 2

バスター 電話一五二宅一六八

# TORIMIX SANAMIX

入植祭々典役員諸氏に  
感謝申しあげます

勝南

入植祭当日は勿論のことであるが、お祭  
り気分は半月も前から市街といわずバス  
ト全般に流れはじめ、祭典委員達は  
自分の仕事を投げ出しての奔走だ。

あちらこちらで踊の結古、芝居の稽古  
に毎夜の疲れをおして一生懸命だ。この  
人達の骨折りによってこそバスターなら  
で、わの祭典気分も満喫できるのだと深く

感謝申しあげます。  
先日週報社を訪ねると霜出老が入って  
来て「ヤア」と童顔一杯を笑顔にして握  
手だ。久闊を叙す元気があつた。

「お祭りと明るく響く」霜出さん、此処  
よお祭りで「お祭りと明るく響く」霜出  
来た。お祭りで「お祭りと明るく響く」霜  
の用意がでたお祭りのセルベーション

と如才のな話だ。  
系音先生が「お祭りと明るく響く」霜出  
週報代を上げて「お祭りと明るく響く」霜  
至極お祭りで「お祭りと明るく響く」霜  
俺がお祭りで「お祭りと明るく響く」霜

に行き見たが、今朝トツパンへもう一ぺんレント

ゲンを撮りに行くと言ったが、もう  
長うばはないかも知れん」とさすかの老の  
顔にも一抹の淋しい翳りが浮かんだが、  
「何と云うても生きて居るうちに呑まに  
やと愚の背中をどやしつけて屈託のない  
笑いの洪水だ、」どおりや、晩にでも中  
つくり呑みに来るかな」と云い乍ら外へ  
出る老の後から愚老も連れ立って出て歩  
いたが、老は街中で停る止まると「しげ  
らく来んまに街がきれいになつた」と自  
分の家でも建つたよな喜び声が老の口  
から洩れ出た。

この老もバスターのお祭りに一役奉仕  
の爲に御来植だ。  
どこの商店もお祭り買物で客が昆み合  
って忙しそうだ。帰省する学生の顔ぶれ  
が揃いはじめると間もなく遠来の客はほ  
つぼつと街に出逢う、もうその頃になる

と前祭りの上、その祭りが崩れて夕方から  
日、昨日までの上、その祭りが崩れて夕方から  
雨模様となつた。花展場で花を生け終え  
た人達が夜の十一時過ぎ帰った頃、降

り出した雨は朝の四時頃まで降りたり止  
んだりして空は真暗だったから、朝にな  
ってあんな良い天気になろうとけ考えら  
れなかつたが、日、昇るに従って空も晴  
た。宵からの寒さも嘘かのように暖くな

た。お恵みのお祭り日和と云うべきか。



愚老はいけ花展示場に花の番をして一歩も外に出ないから街の賑わいは判らなかつたが、十六日花展場を訪ねてくれた昔の愛弟子だけでも二百人を下だらなかつたろう。

十七日は日曜日の故もあつて朝から入場者で昆み合つた。正午から敬老会の会場へ余興の三味を弾子に行つて、長らく逢えなかつた老人達にも逢ふことが出来た。

此の日も遠来の愛弟子達が三百人以上展示場を訪ねてくれ、二日間の入場者の数は悠に二千人を越えたであらう。

昨晩は疲れていたので家に籠つたが、最後の晩の演芸会を見に行つたが、入植祭の呼び物は何と云つても演芸会だ。

此処には三千人位の見物人が押しかけて、あの広い観覧席の外側に築いた人垣の中へ分け入るにも容易でない。

出演者の演技はいずれおとらぬ出来づであつたが、中でも婦人会の喜劇は何と云つても繕古が充分に出来てゐるので一と際目立つてゐた。

ただ、劇中に舞台の両袖の小幕を押して分けて、出番を待つ間の踊り子達が覗き見をしてゐるのは来年から止め貰ひたい、あのくらしい正面から見苦しいものはない目ざわりだ。毎年のことだから憎まれ役を買つて御注意申しあげよう。

祭典にあつたつて他の部門もさうであらうが、花展では特に今年は素材が少なく、いけ花の作家達も非常に苦しんだ。しかし委員の方から立派な花材を多量に頂き、思いの外か作品を色どるものが出来たと厚く御礼を申し上げねばならない。

何と云つてもバスト又は生花の本場として全伯に知られてゐるだけに作家達も毎年作品に苦心するが、他市から見学に来た師範からお世辞もなく好評があることも事実だ。

この生花作家達にも労苦を捕らうに各々があつてはならない。

コチア産業組合からは今年も花展場を無料で提供して下さつたが、此の会場がなかつたらあれだけの展示会は断念しなければならなかつたであらう。

花展場の後かたづけを終えて外に出て見ると、農産展のかたづけに青年達は一生懸命に働いてゐたが、午後に委員の人達が演芸会の御花の整理に汗を流してあられた。各部門で後の整理に骨を折つて居ることであらう。

こうした床下の力持に努力を惜しまぬ人達のお陰で盛大な祭典を無事に終了することが出来たのである。

この祭典のために蔭の力となつて働いて下さつた方々、誠に御難うございました。

死亡通知並に会葬御礼

妻 藤井 姫(紅砂)儀病氣療養中の処七月十三日午前五時半永眠致し翌十四日正午自宅出棺バスト又墓地に埋葬致しました。茲に故人生前交誼を賜りました皆様へ御通知申し上げます。

又葬儀に際しましては御多忙中遠路の処態々御会葬下さり其の上過分なる御香典御供花を賜り御芳情の程遺族一同謹んで厚く御礼申し上げます。実は一女拝眉の上御礼申し上げます。可き処何分取込中にて其の意を得ず失礼乍ら紙上を以つて御礼申し上げます。

一九六六年七月十八日  
バストス ファルツォラ区

- |    |       |
|----|-------|
| 天  | 藤井 又一 |
| 三男 | 藤井 洸雄 |
| 妻  | 藤井 悦代 |
| 孫  | 藤井 隆汎 |
| 〃  | 藤井 和雄 |
| 〃  | 藤井 勝  |
| 〃  | 藤井 直  |
| 〃  | 藤井 史郎 |
| 〃  | 藤井 信広 |
| 〃  | 藤井 三徳 |

- |           |     |
|-----------|-----|
| ファルツォラ区   | 会様  |
| ファルツォラ農友会 | 様   |
| ファルツォラ青年会 | 様   |
| クルベアクリコラ  | 様   |
| ファルツォラ    | 様   |
| バストス仏教婦人会 | 様   |
| ファルツォラ第三組 | 様   |
| 各         | 位 様 |



御禮

去る七月十六日、除幕式を挙行して頂きました  
故畑中仙次郎の胸像は皆様方の一方ならぬ御尽  
力に依り見事に完成され誠にありがとうございます  
御座いました。

微かな故人の業績にもかかわらず過分な御言葉  
を頂戴いたし、殊に当日は田付大使、近藤総領  
事、渡辺領事、宮坂文協会長、京野州議、その  
他名士の御臨席の光栄を得ましたことは私共遺  
族一門にとりこの上の感激はございません。  
一々拝眉御礼に参上致すべきですが失礼乍ら取  
敢えず紙上を以って御挨拶申し上げます。

一九六六年七月二十日

畑 中 し ゆ  
外 子 息 親 戚 一 同

胸像建設委員会御中  
バストス日伯文化協会御中  
バストス市長市会議員各位  
バストス内外知友各位



◎ 楽屋裏

いつものことながら、ここはまるで戦争にでも出かけるようなさわざわぎ、おっかない槍を持った侍も居ればコイツ本当の女かなと思ふ程上手にモツサに化けた野郎も居る。

進行係りはマツキとなつて、まだ支度の出来ぬ出番の尻をたたいている。其の内に迷い子が出来たから捜してくれ、だれそれさんを呼んでくれ、落し物をしたとかひらうたとか、セリフが聞えない、アウトフアラントに雑音が入るから気を付けろ、一々書いていたらキリがない。

◎ 出し物

これも素人の評だからこの文を見たからと云つて気にしないで。

音楽、歌、おどり、狂言これらが主体をなしておどり唄うのであるが、いくら素人演藝会と云つても、それぞれ今少し工夫があつてもよいのではないか。

たとえは表情とか所作であるが、とくに唄などは、お通夜にいつたような顔で唄つたのでは、レコードを聴いているのと同じで、いくら上手に唄つても引き立たない。

同じ出演するならにっこり笑つて、私は何々をうたいます、くらい挨拶があつてもイヤラシクもなければ損もすまい。踊はしてもただレコードに合わせて手足を動かすのではアツリ人形と同じ、踊には踊の表情とか踊子が醸す雰囲気がある苦、尚一そりのみがかきをかけて下さい。

◎ 芝居(狂言)

よく何々何段目、何の場とか云うのを演出するが、何のことか判るのは明治の人位のものだろう、しかし時代劇でもシネマなら二世の人にも解るのである。

一コマが写し出されていくので同一には論じられないと思うが、誰にも判るような解説をつけるような工夫でもすれば、二世にも伯人にもよく判り、日本の古代文化を一般知識としてでも取り入れるのに役立つのではなからうか。

又一方出演者にしても切角何日も練習して、衣裳をこしらへ、一世一代の舞台に立つのであるから、やはり最高の舞台効果をねらう位の研究が必要だと思ふ、中でもミス・ムンドコンクール、仲々時期を得た、あまりイヤ味もなく、大した金もかからず面白い出し物であつたと思ふ。

床屋とお客、よくあちこちでやる悪言刺でこつけないの上なしたが、二日目は少し動作がくど過ぎた感がある。藝の閑所、これも一度か二度お目にかつた事がある、だが総出演だからと云つて全員が出なければならぬ、必要もない、殿様もいささか退屈気味、あまり長と客もたいくつ、潮時が大切、もう一つ、最後のおまけに演係長にアツイお茶を一つ、演藝会は相当の人手がかかり、それぞれお持

場で万全を期しているのだが、何と云つても素人の集り、しかも何の予備知識もないと来ているからまごつくのが当り前、毎年、演藝会の役員目当がついたら、其の人達を集めて一べん位い研究会を行つてしかるべし、では本當に憎まれぬいううちに、このへんでやめておこう、  
終り

御禮

- 金 三コントス也 西川 誠一様
- 一コントス也 近沢 英雄様
- 一コントス也 川辺 和義様
- 五コントス也 無名 氏様
- 五コントス也 橋本光義様
- 三コントス也 島本サノ様
- 一コントス也 小沢 勇様
- 一コントス也 上山 愛子様
- 一コントス也 栖原義一様
- 三コントス也 石橋長見様
- 五百針也 奥山忠蔵様
- 三コト四百二十針也 寒錢箱

地蔵尊に多数御参詣下さり尚以上の方々から多大なる御寄附を頂きお蔭様を以て無事にお祭を終えまし、た事はひとえに皆様御支援の賜物と厚く御礼申し上げます

地蔵尊カリンホ寄贈  
サンパロ

原田印判製作所 様

寒錢箱製作所 寄贈  
福森家具製作所 様

新谷 市次郎 様  
御夫人 様

地蔵尊建立一周年記念祭挙行に際して結始御手伝下さいました事を厚く御礼申し上げます

一九六六年七月十六日

川辺 イサノ

花の御礼

柳浦 さね

- 入植祭の演藝会に出演致しました左記の方々が御花を頂きました深謝致します
- 緒方 時夫 様 竹内 清子 様
  - 板垣 悦子 様 能見 眞市 様
  - 福森 照雄 様 遠藤 常松 様
  - 早川 靴店 様 吉田とし子 様
  - 山根 三郎 様 島本 眞館 様
  - 志牟田 由松 様 伊藤 妙子 様
  - 梶田 様 吉田 キミエ 様



花の御礼

南米本願寺 仏教婦人会

私達入植祭の演芸会に参加致しました  
た処左記の多数の方々から御花を頂  
戴致しました 厚く御礼申上げます

- 森重商 杓 小澤正夫 様
- 戸田キミエ 様
- 永松美代子 様
- 肥後アサ 様
- 大西石碑工場 様
- 宇都宮千未 様
- サキキ 様
- 渡辺チトエ 様
- 黒川仁恵 様
- 板垣寿勢雄 様
- 小田いせ 様
- 栢田柳浦 様
- 早川靴店 様
- 小林小久 様
- 山本栄子 様
- 清金太郎 様
- 黒川正義 様
- 生方正 様
- 島崎ニキエ 様
- 岡田はま 様
- 森下マサエ 様
- 橋本テイ 様
- 中川菓子店 様
- 松川キクノ 様
- 加藤英太郎 様
- 小田呉服店 様
- 守越商店 様
- 宮崎実館 様
- 岡本モト代 様
- 清家重雄 様
- 古澤市次 様
- 藤川すきの 様
- 佐藤キク 様
- 戸来ちづ子 様
- 河井しげ子 様
- 渡辺久雄 様
- 永吉久雄 様
- 東田絹子 様
- 武田オマシ 様
- 黒川ツキエ 様
- 原野こふゆ 様
- 清水静男 様
- 河西哲 様
- 農田エキエ 様
- 船辺エキエ 様
- 豊島 様

南米本願寺

日曜学校生徒

- 山本栄子 様
- 丸山小敦 様
- 小林久雄 様
- 板垣寿勢雄 様
- 小谷しづ 様
- 織田しづ 様
- 山根三郎 様
- 梶田キクノ 様
- 松川夏子 様
- 宮武夏子 様
- 新谷つちエ 様
- 豊島 様
- 永吉久男 様
- 森下マサエ 様
- 清家重雄 様
- シマカラ小沢 様
- 藤川ニエ 様
- 水馬幸子 様
- 宇都宮千未 様
- 前山商店 様
- 宮崎実館 様
- 森重商店 様
- 橋本テイ 様
- 小田呉服店 様
- 島崎ニキエ 様
- 黒川仁恵 様
- 渡辺チトエ 様
- 河井ちづ子 様
- 清家瑠美 様
- パール柳浦 様
- 守屋正二 様
- 草野未吉 様

御案内

拝啓愈々待望の真宗大谷派(東本願寺)の御法主光台殿下並に御裏方様には来る八月十九日午前十時バスとスにお着きになられます 今次御伯の目的は日伯親善と同胞への御慰問にあることはもとより一には各地へ御巡化なられて親しく御門末に接し本願の大悲をより明らかにお示し下さる御趣旨と拝察致します  
当寺では此の機会に延修中の開山聖人七百回大遠忌法要(御真修を特別バスと文開拓先亡者追悼法要)いたします  
御親教 帰敬式 (おかみそり)  
随員 新本部長の御話も聴  
出来ますから どうぞお誘い合せ御  
参詣下さる様御案内いたします 合掌  
一九六六年七月十五日  
バスとス南米本願寺  
皆々様

花の御礼

橋本てい

- 入植祭の 余共に出場いたしました処左記の方々から多大なる御花を頂戴致しました 厚く御礼申上げます
- 新出夕起恵 様
  - 黒川仁恵 様
  - 栖原信子 様
  - 渡辺チトエ 様
  - 竹内行正 様
  - 谷口幸子 様
  - フオト島本 様
  - 安藤すみ子 様
  - 橋本かね 様
  - 山根三郎 様
  - 安藤マサ子 様
  - 岡田はま 様
  - 清家瑠美 様
  - 織田しづ 様
  - 桐谷 様
  - 戸田ツイ子 様
  - 小林小久 様
  - 守越商店 様
  - 星島悦三 様
  - 竹内イク 様
  - 堂前幸太郎 様

花の御礼

橋本恵子

- 祭典演芸会に出演致しました処左記の方々から御花頂戴致しました 厚く御礼申上げます
- 新出夕起子 様
  - 星島悦三 様
  - 安藤つさ子 様
  - 橋本てい 様
  - 佐藤タカ子 様
  - 竹内行正 様
  - 橋本チエ子 様
  - 安藤すみ子 様



花の御礼

祭典演芸会に出場致しました処左記の方々から多大なる御花を頂戴致しました。厚く御礼申し上げます。

- 柘原信子様
- 宮武勝南様
- 草原秀雄様
- 栢野益子様
- 石橋敏子様
- 黒川仁恵様
- フオト島本様
- 淡島砂子様
- ウニオン中原様
- 山根三郎様
- 橋本てい様
- 遠藤常治様
- 岡田はま様
- 森下マサエ様
- 渡辺しげ子様
- 原野こふ子様
- サトウ上田様
- 八重樫辰見様
- ビデテ草原一恵様
- 淡照代様
- 戸田ツイ子様
- 清家瑠美様
- 戸田キミエ様

入植祭 漢芸 花の御礼

日本語学校生徒

- 森重商店様
- 前山義雄様
- フオト板垣様
- 阿部五郎様
- 真木論吉様
- 内馬場吉様
- 農田哲様
- 柳屋寿和様
- 豊島喜一様
- 小茂田吳服店様
- パール柳浦様
- フオト宮崎様
- 丸山敦様
- 病院佐藤様
- シカラ小澤様
- 天野昇様
- 梅津喜平様

御礼 福森照雄様

梅津愛子

バストス日伯文化協会様

三浦義幸 画伯様

日語学校 世話人

三浦義幸様

大橋武三郎様

金一封 御礼

故面川ゆき様の香奠返しとして御寄贈下さり有難く御礼申し上げます

金一封

亡妻ゆき様の香奠返しとして御寄贈下さり有難く御礼申し上げます

連合仏教会

花の御礼

祭典演芸会に出演致しました処左記の方々から御花を頂きました。厚く御礼申し上げます。

- 柘原真一様
- 能見真一様
- 谷田部千代様
- 能見ヒデ様
- 友谷和子様
- 内馬場七郎様
- 伊藤妙子様
- 西見ハヤノ様
- 天野昇様
- 遠藤常治様
- 本田たね子様
- 柳浦サワ様
- 信田千恵子様
- 倉本ヨシエ様
- 太郎田スズ様
- 寺岡トモ様
- 吉田キミエ様
- 中岡田様
- フオト島本様
- 有馬佐保様
- 梶田ヨシノ様
- 照井ヨシノ様
- 渡辺権之助様

入植祭演芸会 花の御礼

内馬場とよ子

- 丸山敦様
- 梶田小澤様
- シカラ小澤様
- 友谷和子様
- 佐藤マリナ様
- パール柳浦様
- 倉本ヨシ子様
- 草野末吉様
- 本田たね子様
- 宮崎富真館様
- 長尾梅津愛子様
- 信田千恵子様
- 照井秀夫様

花の御礼

私達入植祭演芸会に出演致しました処左記の方々より沢山の御花を頂きました。誠に有難うございまして

亀田裁縫学校

小茂田吳服店様

フオト島本様

伊藤時子様

森重商店様

梶田商店様

関口かず子様

花の御礼

亀田カズエ

入植祭の演芸会に出演致しました処左記の方々から御花を頂きました。有難うございまして厚く御礼申し上げます。

- 松藤ミキ子様
- パール柳浦様
- 上原様
- フオト島本様
- 梶田商店様
- 光石美代子様
- 平岡ウメ様
- 関口ウメ様
- 西見すみ子様



花の御礼

連合仏教婦人会

私たち入植祭演芸会に出演致しまして  
た忍左記の方々から多大なる御花を  
頂戴致しました厚く御礼申し上げます

- 桑原良子様
- 吉田 多作様
- 西ヶ道 様
- 寺岡 トモ様
- 黒川 月江様
- 能見 幸雄様
- 武田 およし様
- 古沢 市次様
- 守越 商店様
- 木 庄次郎様
- 木 庄次郎様
- 藤川 野田哲様
- 中原 菓子店様
- 早川 靴店様
- 小沢 田呉服店様
- パール 柳浦様
- 谷田 部千代様
- 倉本 ヨシ子様
- 栖原 キク玉様
- 豊島 様
- 久本 千代子様
- 能見 利八様
- 上原 様
- 緒方 ヨヨ様
- 豊岡 田様
- 梶 田商店様
- 杉 誠造様
- 杉 フデノ様
- 照井 ヨシノ様
- 有馬 佐保様
- フオト 島本様
- 西見 吾市様
- 清 金太郎様
- 渡辺 洗濯屋様
- 紫 藤 キクエ様
- フオト 宮崎様
- 伊藤 妙子様
- サキ キ薬局様
- 前山 商店様
- 森 重商店様
- キタシダ 古川様
- 板垣 薬局様
- 渡辺 権之助様
- 吉浦 秀次郎様
- 小沢 勇様
- 久保 田様

御礼

金一封也

故御夫人様の香奠返しとして御寄  
贈下さいました深謝いたします

連合仏教婦人会

連合仏教会

面川千賀雄様

御礼

金一封也

亡奥様の香奠返しとして御寄贈下  
さいました有難く御礼申し上げます

連合仏教会

連合仏教婦人会

三宅亀一様

御礼

金一封也

亡妻様の香奠返しとして有難く頂戴  
致しました

バストス仏教婦人会

面川千賀雄様

花の御礼

榎 はやの

入植祭の芝居に出演致しまして左記  
の方々から御花頂戴しました 深謝致  
申し上げます

- 石橋 敏子様
- 橋本 芳枝様
- 時 高子トール様
- 桑原 久次郎様

御礼

金三千クルゼロス也

御懇志として拝受いたしました

バストス南米本願寺

川辺イサノ様

御礼

金一封也

亡奥様の香奠返しとして御寄贈に  
あざかりました厚く御礼申し上げます

バストス仏教婦人会

三宅亀一様

御礼

金一封也

故面川千賀雄様の香奠返しとして  
御寄贈下さいました深謝致します

暁の星会

面川千賀雄様

御礼

金一封也

亡妻様の香奠返しとして拝受致しま  
した厚く御礼申し上げます

師範学校一年生

面川千賀雄様

御礼

金二十二コトス五百クルゼロス也

右は慰霊祭の剩餘金として御寄贈  
下さいました  
厚く御礼申し上げます

バストス南米本願寺

入植祭々典委員会様



花の御礼

吉田 きみ江様  
太郎田 スズ様  
能見 ヒデノ様  
谷田 ちよ様  
杉田 フデノ様  
西見 ハヤノ様  
吉田 とし子様  
渡辺 権之助様  
高橋 節子様  
柳浦 さわ様  
友谷 和子様  
寺岡 トモ様  
戸田 ソイ子様  
有馬 佐保様  
フオト 島本様  
伊藤 妙子様

花の御礼

島本 文子様  
岡田 節子様  
谷口 嘉平治様  
梶田 商店様  
吉田 きみ江様  
荒木 ムルカド様  
渡辺 権之助様  
照井 ヨシノ様  
大貫 キミ子様  
伊藤 妙子様  
杉前 藤介様  
堂前 幸太郎様  
星島 絹枝様  
緒方 時夫様  
中浦 富子様  
有馬 佐保様  
吉田 とし子様  
倉本 ヨシ子様

花の御礼

フオト 島本様  
文本 友市様  
吉田 トシ子様  
能見 眞市様  
能見 ヒデノ様  
吉田 キミエ様  
早川 あや子様  
文本 千代子様  
能見 幸男様

花の御礼

山根 三郎様  
友谷 和子様  
黒川 仁恵様  
渡辺 千トエ様  
船辺 ユキエ様  
小林 いせ様  
森下 マサエ様  
島崎 ミキエ様  
清家 瑠美様  
橋本 てい様  
清水 小久様  
戸田 ツイ子様  
緒方 時夫様  
板垣 悦子様  
渡辺 栄子様  
岡田 節子様

花の御礼

溝畑 多一郎様  
倉本 よし子様  
岡村 先生様  
小澤 勇様  
郷原 美代子様  
信田 千恵子様  
溝畑 祖母様  
照井 秀夫様  
小澤 勇様

小澤 姉妹より

花の御礼

中浦 三司様  
藤本 博様  
平岡 様  
水本 彰様  
パール 柳浦様  
小沢 田 吳服店様  
森重 商店様  
梶田 商店様  
フオト 島本様  
船辺 久雄様  
トパン 古川 様  
丸山 敦 様  
菅野 三郎様  
早川 靴店様  
河西 静男様  
天野 昇 様  
フオト 宮崎 様  
前山 商店様  
内馬 場七郎様

花の御礼

米川 悦夫様  
小澤 勇様  
溝畑 多一郎様  
小沢 養鶏場  
中村 秋水

林 新一

米川 悦夫様  
小澤 勇様  
溝畑 多一郎様

茂上 豊

溝畑 多一郎様  
小澤 勇様  
米川 悦夫様  
郷原 美代子様

金一封 御礼

嬰兒の御死まに際し香奠返し  
として御奇付いたなき、ありがとうございます。  
ハストス連合 佛教婦人会  
清六男 様

おしらせ

八月七日(トミゴ)夜七時より  
仙人掌句会 佐々木南天子宅にて  
兼題 冬風が ねふか汁 水漬  
通して八句  
会費不要 同様の士の御参加をお願いします  
サボテン 社



死亡通知並に会葬御礼

荊妻、松枝儀（五二歳）病氣加療の爲めツパン市のサンタカーザ  
 に入院中の処、薬石効無く去る七月十六日九時四十五分、同院にて逝  
 去仕り、依って翌十七日正午出棺バストス墓地に埋葬いたしました。  
 茲に生前辱知各位に御知らせ申上げ、病中御懇篤な御見舞に接しま  
 したことを厚く御礼申上げます。  
 追って葬儀の節は御多用中遠路お厭いも無く懇々御会葬下さいまし  
 た上、御丁重なる御香奠、花輪など御供えを頂き御芳志の段まこと  
 に有難く厚く御礼申上げます。

実は一々拝趨御回礼致すべき処、取込中にて思ひに委せホ欠礼の段  
 御寛恕賜わり、失礼下ら紙上にて御礼述べさせて頂きます。

一九六六年七月十八日

バストス中央区第三組

喪主

夫	三	宅	龜	市
長男	三	宅	輝	夫
次男	三	宅	圭	等
二女	三	宅	か	子
三女	三	宅	お	る
四女	三	宅	秀	子
五女	三	宅	晴	子
親戚	聖市	渡	部	明
	ホンペイア	延	堂	惠
	ハラナ	古	沢	太
	アケレナ	白	神	近
	バストス	能	山	雄
	ホンペイヤ	官	見	米
		本	幸	隆

御礼

七月廿二日、初七日のミサをイグ  
 レージャバストスに於て執行いた  
 しました節は、多数御参席下さい  
 まして誠にありがとうございます

三宅 遺族 一同

プラタク製糸株式会社 御中  
 ハストス佛教婦人会 様  
 PL教団ハストス会員一同 様  
 連合 佛 教 会 様  
 連合 佛 教 婦 人 会 様  
 中央区 第三組 御中  
 岡山県人会バストス支部 御中  
 グランジアバストス組合 様  
 サンシロ中学六二年卒業生 様  
 ハストス高商 一年生 様  
 アミーゴ テレオ一同 様  
 バレオラニテ組合バストス出張所 様  
 ハストス内外知友の皆 様  
 バンテラニテ区 家長会 各位



七月廿六日(火)廿七日(水)両夜とも八時

日活 帰郷

吉永小百合 高橋英樹

リトブレ

七月廿九日(金)八時 三十日(土)九時半

にっぽんばらだいす

香山美子 加賀まり子 勝呂登 十才以上  
木下徳田 長門裕二 加東大助 以上

七月卅一日(日)八月一日(月)

Desafinado e perigo

松竹 改り込み侍

長門 勇 大友柳太郎 宗方克己 十四才以上  
動川千子 小畑 絹子 中村 秋子

斬れ！ 走れ！ 血しぶき浴びて翼が原

二本立興行

Juventude Amor e Sol

八月二日(火)三日(水)両夜とも八時

東宝 大学の若大将

加山雄三 星由利子 中真千子

若さとスタミナが溢れてる 曲ったことが大嫌い！

カレッジーの人気者 加加山雄三の主敵は青春

天下無双の痛快娯楽巨篇

Castelo de Oraca

東宝 大坂城物語

三船敏郎 香山美子 山田五十鈴 夏木陽介 市川團子

監督 稲垣浩 原作村上元三

リトブレ

大入 満員御礼

# Avesso de Cine Bastos

## 渡辺マルガリタさん来植

救済会女神渡辺マルガリタさんか去る七月十六日入植祭以来バストスに未植され「いのいの園」増築資金募集に歩いて居られます。

「いのいの園」は身寄りのない老人男女の救済所で現在七一名世話をして居ますが入所希望者が多いので、二人が救済会創立二十五周年記念事業として十二万ポンドの予算で増築に着手することになりました。皆さんコロニア唯一の社会救済事業ですから何分の御協力をお願い致します。

バストスでは日伯文化協会の尽力と各婦人 団体の後援で、毎日各所にお頼いによって居ります。どうか敬天愛人の大らかなお気持ちで、多少に力かわらず、この増築運動に御賛同の程折入って御願ひ申上げます。

救済会 渡辺マルガリタ

## 西徹さんコチア産組の

理事に当選す

コチア産組は、これまで理事八名制であったが今年から改革が行われ十五名に増大され、全国から優秀な人物が選ばれたこととなり、去る七月十五日、二百三十名の代表議員によって選挙の結果、パウリ線、合む奥伯候補として推されて、西徹さんは九位で当選した。新聞の報ずるところによると、これまでの有名理事、井上安田、下元の諸氏も名は悉く当選、西氏はこれからのベテランに交って第一線で活躍することになった。

西氏が奥伯で候補に推されるには、バストス倉庫の有力な後押しがあったのは、云うまでもないが、何と云っても、氏の人の柄と経歴が、うってつけであり、経政的手腕は市長時代に遺憾なく発揮されて居るので、殆んど一の反対者なく推薦された模様である。

これからの時代は日伯両語に堪能といふことは勿論だが、その外によほどの政治性が、必要であり、その上誠意な人格者であることが要望されている。西氏がこまめに伸びるが、バステンセのたのしみは又一つふえた。